

- 御嶽山の火山活動を踏まえて、これまでの火口周辺警報を噴火予報とし、**噴火警戒レベルを2から1に引き下げる。**
- 噴火警戒レベル1となった場合においても、当面、2014年火口列のうち、**噴気が活発にでている3つの噴気孔から、火山灰等のごく小規模な噴出が突発的に発生する可能性がある。**
- このため**3つの噴気孔から概ね500m**を、噴火警戒レベル1における**注意が必要な範囲**として設定する。

【注意が必要な範囲を概ね500mとした根拠】

- 御嶽山の1991年、2007年のごく小規模な噴火では、いずれも火口から概ね200mの範囲に降灰しており、それをやや上回る範囲に影響する可能性も否定できない。
- このため、より安全面を重視して、当面、注意が必要な範囲を3つの噴気孔を中心に概ね500mとした。

